

平成29年度事業報告

1、事業報告（概要）

本格的な少子高齢化社会をむかえ、急速に高齢化が進展するなか、人生百年時代が到来するとも言われています。そうしたなか、八十歳になっても九十歳になっても「生涯現役」で元気いっぱい活躍する会員が集い、社会の担い手として活躍するシルバー人材センターの役割は、今後ますます重要となっています。

平成29年度は、センター設立三十周年を迎える節目の年となり、本年3月21日には長浜文芸会館において、2,000人を超える市民の参加のもと記念事業を執り行うことができました。この大きな節目を大事にし、共に働き、共に助け合う多くの会員とともに、地域の皆さまの期待と信頼に応えられる魅力あるセンターとしてこれからも事業運営に取り組んでいかなければなりません。

本年度は、事業推進の大きな目標とする「第2次中期計画」の終了年度となり、公益法人となった平成24年度以降、総決算の年として、市行政や事業所、地域住民の皆様方のご理解ご支援をいただき、また会員と役職員が力を合わせて事業の推進を図ってきました。

事業実績については、会員数は3月末で1,607人（前年度比30人増）、就業延人日数は156,464人（同102%）、契約金額（請負・派遣事業）687,882千円（同103.5%）といずれも前年度を上回ることで、堅調に推移することができました。特に、派遣就業においてはシルバーの就業制限（週20時間）の枠を超えて就業が可能となったことや、適正就業により請負就業からの切り替えにより、派遣契約金額は119,870千円（同132.8%）と大きく伸びました。

しかしながら、傷害・賠償事故は、傷害事故が14件（前年度7件）、賠償事故は11件（前年度15件）発生し、前年度を上回る結果となりました。職群別班長安全会議の開催や安全パトロールの強化、会員への様々な啓発など安全への取り組みを進めてきましたが、今後も引き続き安全意識の高揚に取り組み、必要な施策を推進していく必要があります。

先の「第2次中期計画（事業活性化計画）」の終了にあたり、これまでの実践と成果の上に立ち、計画的な運営を図るため、今後5年間の「第3次中期計画」を3月末に策定いたしました。センターを取り巻く社会経済情勢が刻々と変化していく中ですが、社会の活力を維持し地域を支える担い手として、シルバー人材センターの役割は変わることがなく、一層大きなものとなってくることでしょう。

今後も、地域社会の期待に応え、会員のニーズを踏まえた就業機会の確保と自主的な会員活動を促進し、魅力あるセンター運営を進めていくためにも、会員の皆様のご理解ご協力をよろしくお願い申し上げます。

以下、平成29年度の事業実施計画に係る事業執行状況について、次のとおりご報告申し上げます。